

## 口腔ケアに対するアンケート形式による意識調査

JA 三重厚生連 三重北医療センター 菰野厚生病院 薬剤部<sup>1)</sup>

JA 三重厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院 薬剤部<sup>2)</sup>

前川純一<sup>1)</sup> 伊藤広樹<sup>2)</sup>

【背景・目的】栄養管理において口から食べるという観点から、口腔ケアに対する意識が高まっている。また歯科医師、歯科衛生士が栄養管理に携わる施設も増加している。歯科を標榜していないいなべ総合病院において口腔ケアに対する関心や、実施する上での問題点を明らかにするべく、調査した。

【方法】いなべ総合病院にて口腔ケアを実施している職員 132 名（看護師 128 名、作業療法士 4 名）に対し無記名 8 項目選択式のアンケート調査を実施した。

【結果】回収率は 91.7%。経験年数：平均 13.7 年。口腔ケアの重要性に関しては 96.6%が重要と考えているが、口腔ケアに対する専門的な教育を受けたと回答した職員は 29.8%に留まり、69.4%の職員は自信がないと回答した。実施における問題点は、“時間に追われてケアが雑になっている”が最も多く、次いで“専門的な教育を受けていない”、“自信が無い”が挙げられた。

【まとめ】今回の調査では口腔ケアの重要性は感じているものの、専門的な教育を受けてないが故の自信の無さが浮き彫りとなった。近場での研修を望む声は多く、今後、院内研修のテーマとして口腔ケアを取り入れるなど、病院内全体のレベルアップを図りたい。